

令和7年国勢調査 調査員募集のお知らせ

日本国内に住むすべての人と世帯を対象として、国勢調査を令和7年10月1日現在で実施します。国勢調査から得られる統計は、国および地方公共団体の各種行政施策のほか、さまざまな公的統計を作成するうえで欠くことのできない基礎データとしても使用されています。

町では、この国勢調査に協力していただく「国勢調査員」を、広く募集しています。ぜひあなたの力をお貸しください！

1. 活動期間

令和7年8月下旬～10月下旬（予定）

2. 活動中の身分

総理大臣の任命する非常勤の国家公務員

3. 主な活動内容

- (1) 町が主催する調査員説明会への参加
- (2) 調査を担当する地域の世帯確認
- (3) 調査についての説明および調査書類の配布
- (4) 調査票の回収および整理

4. 応募資格

- (1) 心身ともに健康である人
- (2) 責任を持って調査事務を遂行し、業務を完了させることができる人
- (3) 調査により知り得た秘密を守ることができる人
- (4) 満20歳以上の人
- (5) 警察・選挙に直接関係のない人
- (6) 暴力団およびその関係者ではない人

5. 担当する調査区

1～2調査区を担当していただきます

6. 報酬

調査終了後に国の基準に基づき報酬が支払われます。報酬金額については担当される調査区数や世帯数によって変動します。

※令和2年度の国勢調査では1調査区あたり約3万5千円～4万円でした。

7. 応募方法

申込用紙に必要事項を記入のうえ、養老町役場 総務課までご提出ください。

その後簡単な面談を実施する予定です。

(申込用紙は町ホームページもしくは総務課窓口にて配布しております)



キャンペーンサイト

問 総務課 ☎32-1101

SDGs “持続可能な養老のまちづくり”

～使い捨ての暮らしを見直してみませんか？脱プラスチック生活！～

石油由来のプラスチックは自然には分解されません。2050年には海のプラスチックごみの量が、海の魚の量を上回るといわれています。お菓子の包装紙、レジ袋、ペットボトル、食品容器などの使い捨てにより生じる「プラスチックごみ」ですが、日本における1人あたりの「プラスチックごみ」の排出量は世界で2番目となっています。

円安が進み生活に関わる物価が値上がりしています。この機会に自分の生活を見直し、買ってから数時間で不要になるものをできるだけ家に持ち込まない「脱！使い捨ての暮らし」を心がけましょう。やむを得なく家に持ち込んでしまった場合には「プラスチック製容器包装」として分別し、ごみとして処理するのではなく資源としてリサイクルしましょう。今を生きる私たちが次世代のために住みよい地球を守っていきましょう。

プラスチック製容器包装は資源です！

プラスチック製容器包装は町指定の赤い収集袋に入れて出してください。

- ・カップ類 ・袋類 ・ボトル類 ・チューブ類 ・パック類 ・ネット類（商品を保護するための物）
- ・アルミ複合材（お菓子袋などアルミコーティングされているもの） ・トレイ類（プラマーク付き）

※紙製のラベルやシールははがす必要はありませんが、ボトル類やチューブ類のキャップははずしてください。また、中身は使い切り、きれいに洗って出してください。

※プラスチック製品でも、プラマークの表示がないものや汚れているものは「燃やせるごみ」として出してください。また「プラスチック製容器包装」か「燃やせるごみ」か、迷う場合には「燃やせるごみ」として出してください。



対象となるものは
プラマークが目印です。



◎東京農工大学の高田教授らの研究グループによると、11人の血液を分析したところ4人の血中からプラスチックの微粒子が検出されたとのこと。こういった化学物質の摂取量が増えたり長期間蓄積したりすると、人体へ悪影響を与えることが懸念されます。町民の皆さまも他人事とせず、自分ごととして考え、取り組んで行くことが求められています。

問 生活と環境を考える会 ☎32-2386
住民環境課 ☎32-1104